

【第42回講談社科学出版賞を受賞】内藤健 著『アズキの起源』

東京書籍株式会社から2026年3月に刊行された『アズキの起源』（内藤健 著）が、2026年7月24日、第42回講談社科学出版賞を受賞しました。

受賞のコメント



内藤健氏

日本から大陸に広がった作物があったなんて、しかもそれがアズキだったなんて、そして何よりそれを自分が発見しちゃうなんて、想像もしてませんでしたよ。そもそも、そういう研究がしたいと思って研究の世界に飛び込んだわけでもなかったわけです。世界中のアズキを集めまくった大先輩がいる研究所に拾われたこと、ゲノム解読技術の革命が起きた頃に研究を始められたこと、ゲノム解析のスペシャリストと手を組めたこと、また考古学者が縄文時代のアズキ利用に関する証拠を積上げてくれていたことなど、色んな前提条件が揃ったことで達成された成果です。さらにその成果が本になったのは、東京書籍の編集部が私が書く文章の大ファンがいてくれたおかげです。「何度読んでも感動します」なんて言われながら調子に乗って書いたのですが、それがまた講談社科学出版賞に選ばれるとは。驚きを通り越してポカンとしてしまいました。でも日本の歴史を書き換えるような話なので、多くの方に読んで欲しいです。本屋でも図書館でも知人宅の本棚でも、見かけたら手にとってみてください。どうか、前書きだけでも！

著者略歴

内藤 健（ないとう けん）

1978年滋賀県出身。農研機構遺伝資源研究センター上級研究員。京都大学大学院農学研究科修了、博士（農学）。アズキの先物取引で全財産を失うという歴史ある家系に生まれる。しかしその事実を知らないままアズキの研究者になっており、運命の悪戯を最近知る。波打ち際や石灰岩の上など、辺鄙な環境に生えている野生アズキの研究が専門だが、本書のテーマをはじめ、多くの研究に巻き込まれている。東京大学大学院の客員教授として教育にも従事。講義は面白いはずだが履修者が少なくてちょっと

寂しい。共著に『ゲノムでたどる古代の日本列島』（東京書籍）、『植物の超階層生物学』（文一総合出版）などがある。

本書の概要



『アズキの起源』表紙

『アズキの起源』（内藤 健 著）

本書は、赤いアズキの起源を探る科学ノンフィクションです。これまで、アズキはイネやムギなどと同様に大陸から伝わってきたと考えられていましたが、著者らの研究成果により、縄文時代の日本でアズ

キの栽培が始まったことが明らかになりました。「ゲノムを読むとはどういうことか」を丁寧に解説しながら、赤いアズキの起源に迫ります。

目次

- 第1章 アズキ研究前夜
- 第2章 地図を作れ アズキゲノムという名の地図を
- 第3章 アズキの歴史と我が家の歴史
- 第4章 アズキの起源は日本以外ない
- 第5章 遺伝学と考古学が完全に一致
- 第6章 中国起源説を覆せ

書誌情報

書名：アズキの起源

著者：内藤 健

ISBN：978-4-487-81888-4

定価：2,090円（本体1,900円＋税10%）

発売：2026年03月23日

頁数：224ページ

判型：四六判

URL：<https://www.tokyo-shoseki.co.jp/product/books/81888/>

東京書籍株式会社

東京書籍は1909(明治42)年創業。「教育と文化を通じて人づくり」を企業理念とし、新しい時代に挑戦する個性的、創造的な人材の育成を目指しています。小・中・高等学校の教科書発行部数が最多の教科書業界最大手の出版社です。近年、デジタル教科書など教育用デジタルコンテンツの開発・販売にも注力しています。その他、教育総合ポータルサイト運営、学力・体力テストなどの各種評価事業、一般書籍の発行など教育と文化に係る幅広い事業活動を行っています。

東京書籍株式会社のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/115774